

責任ある調達 プログラムハンドブック

第1.0版

Bristol Myers Squibbのサステナビリティ要件に関する
サプライヤー向けガイド

目次

1. 概要(3ページ)

- Bristol Myers Squibbにおける環境・社会・ガバナンス(ESG)／サステナビリティの定義
- ESG／サステナビリティにおけるBristol Myers Squibbの取り組み
- Strategic Sourcing & Procurement(SS&P)の取り組み: 責任ある調達プログラム

2. 責任ある調達プログラム(12ページ)

- 範囲と意図
- フレームワークとロードマップ
- 階層の概要
- 変革の要件とビジネスケース

3. 要件の詳細(20ページ)

- リスク回避と継続的な改善
- パフォーマンス管理
- 情報開示
- サプライチェーン管理
- イノベーション

4. リソース(28ページ)

- リソースと参考資料
- サプライヤーの期待事項
- FAQ

5. 付録(34ページ)



“

Bristol Myers Squibbと協働およびご協力いただき、ありがとうございます。私たちはともに、サプライチェーンにおける社会的および環境的インパクトについて、積極的に考慮しなければなりません。皆様の参加は、サステナビリティ(持続可能性)への取り組みを維持するだけでなく、複雑なサプライチェーンにおける多数の課題への取り組みにもおおいに役に立ちます。

責任ある調達プログラムは、皆様がサステナビリティへの取り組みのどの段階にいるかを評価するためのツールです。本プログラムでは、段階的でインセンティブを与えるアプローチで目標とターゲットを設定します。長期的には、最低限の期待値を満たすだけでなく、リーダーシップと革新性を実証することが求められますが、私たちは、取り組みの背後にある労力をはるかに上回るメリットがあると考えています。私たちは、継続的なサステナビリティの向上を目指しながら、サプライヤーの皆さんの進歩にも関与していきます。

私たちは、深刻な病気を抱える患者さんのために、革新的な医薬品を発見、開発し、提供するという使命の達成に向けて、皆様と協力して取り組めることを楽しみにしています。

”

Paula Glickenhau

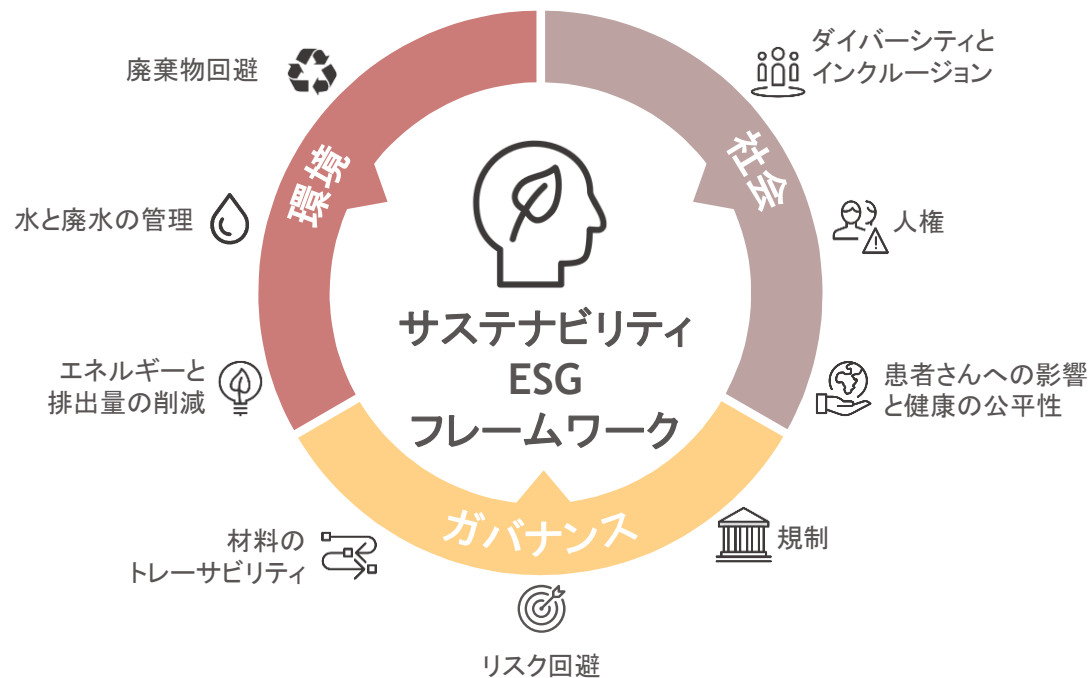
Senior Vice President & Chief Procurement Officer

シニアバイスプレジデント兼CPO(最高調達責任者)

ESGフレームワークにおけるサステナビリティ

ビジネスの優先事項をサポートするには、SS&P全体でサステナビリティを導入することが不可欠です

組織が環境に与える影響と、天然資源の使用と気候変動への影響を増大させる業務上のリスクを軽減する能力



多様性、人権、消費者保護に対するアプローチを含む、組織とその従業員、サプライヤー、事業を展開するコミュニティとの関係

組織が(監査、報告プロセスなど)内部ポリシーと目標のコンプライアンスおよび外部規制の順守を確保するために使用するメカニズム

ESG戦略に関する声明

Bristol Myers Squibbのビジョンは、「サイエンスを通じて、患者さんの人生に違いをもたらす」ことです。

業界を先導するバイオファーマ企業としての当社の責任は、深刻な病気を抱える患者さんのために、革新的な医薬品を発見、開発し、提供するだけに留まらないことを理解しています。

私たちは、長期的なビジネス価値を推進することが、当社が目的を達成し、次世代を担い、違いを生み出すリーダーなるために不可欠であると信じています。当社は、環境・社会・ガバナンス(ESG)戦略を通じて、当社の能力とリソースを集結し、私たちが暮らし、働き、サービスを提供するコミュニティにポジティブな影響を与えることを目指しています。

当社は、すべての活動を通して、品質、誠実性、倫理にコミットしています。当社は、効果的なガバナンスと最も高いレベルの倫理基準を持って業務を遂行しています。ステークホルダーのニーズへの理解を深めるべく、彼らとの透明性のある関係と対話を追求しています。

当社は、私たちが暮らし、働き、サービスを提供するコミュニティの健全性を積極的に改善するよう努めています。私たちは世界中で健康の公平性を推進し、深刻な疾病の影響を不当に受けている人々の健康状態の改善を図っています。

当社はダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンを重視します。私たちは、多様な経験と包括的な企業文化が変革的なビジネス成果につながると信じています。従業員の健康、安全、公平性かつ敬意ある待遇、能力開発、ワークライフバランスは当社の最優先事項のひとつです。

私たちは、長期にわたる環境のサステナビリティへの誓約を尊重しています。私たちは、環境への影響を最小限に抑えながら、最大限のプラスの影響を生み出す責任があることを理解しています。私たちはサステナビリティを実現することによりイノベーションを推進し、回復力を構築し、非財務リスクを管理します。

BMSのコミットメントにつながる環境と健康の関係



環境



社会



ガバナンス

主な優先事項

- 環境保護への取り組み
- 環境負荷の低い医薬品開発

- 製品の品質と安全性の向上
- ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンの促進
- 健康の公平性、患者アクセス、イノベーションの確保

- 最も高いレベルの倫理、誠実性、コンプライアンスの維持
- 取締役会の監督と説明責任の遂行

具体的なコミットメント

- | | |
|-------|--|
| 2024年 | SBTiの科学的根拠に基づく排出削減目標の検証完了 |
| 2030年 | 再生可能エネルギーから100%電力購入 |
| 2040年 | <ul style="list-style-type: none"> • 100% EV車両 • 衡平な水利用 • 埋立廃棄物ゼロ |
| 2050年 | ネットゼロGHG、スコープ1、2、3 |

- | | |
|-------|--|
| 2021年 | 多様な都市圏に25%超の新しい臨床試験施設を設置 |
| 2022年 | <ul style="list-style-type: none"> • 世界中の経営幹部レベルにおける男女平等 • 黒人／アフリカ系アメリカ人およびヒスパニック／ラテン系のエグゼクティブ数を2倍 |
| 2025年 | 多様性に富むサプライヤーとの世界的な取引額10億ドル |

- 経験豊富で多様性のある取締役会**
- 取締役会による戦略と主要な企業リスクの監視
 - 取締役の64%は女性および民族的に多様な者
- 株主の権利**
- 定期的な株主の参加
 - 委任によるアクセス
 - 臨時総会権(15%)

環境サステナビリティの要点



2022年の進捗状況*



8.2%

スコープ1、2、3の削減
GHG排出量(2021年比)

締結されたバーチャル
PPAのタイムライン

15年



46%

発生した廃棄物全体に
おけるリサイクル/
再利用の割合

全体に占めるEV/PHEV/
ハイブリッドの比率²

28%



4.1%

取水量の減少
(2021年比)

埋立処分から転換
された廃棄物量¹

83.5%



Bristol Myers Squibbは社会問題やガバナンスの問題にも取り組んでいます

Bristol Myers Squibbは、環境ターゲットに加えて、特に**健康の公平性**に重点を置き、**社会とガバナンスの問題**にも取り組んでいます。



1億**5000**
万ドル

健康格差への対処、サプライヤーの多様性、臨床試験の多様性、多様性のある労働代表性の向上のための投資。

10億ドル

2025年までに、黒人／アフリカ系アメリカ人やその他の民族的に多様な人々が所有するビジネスとの取引を世界全体で10億ドルに到達させる



1億**5000**
万ドル

健康格差への取り組み

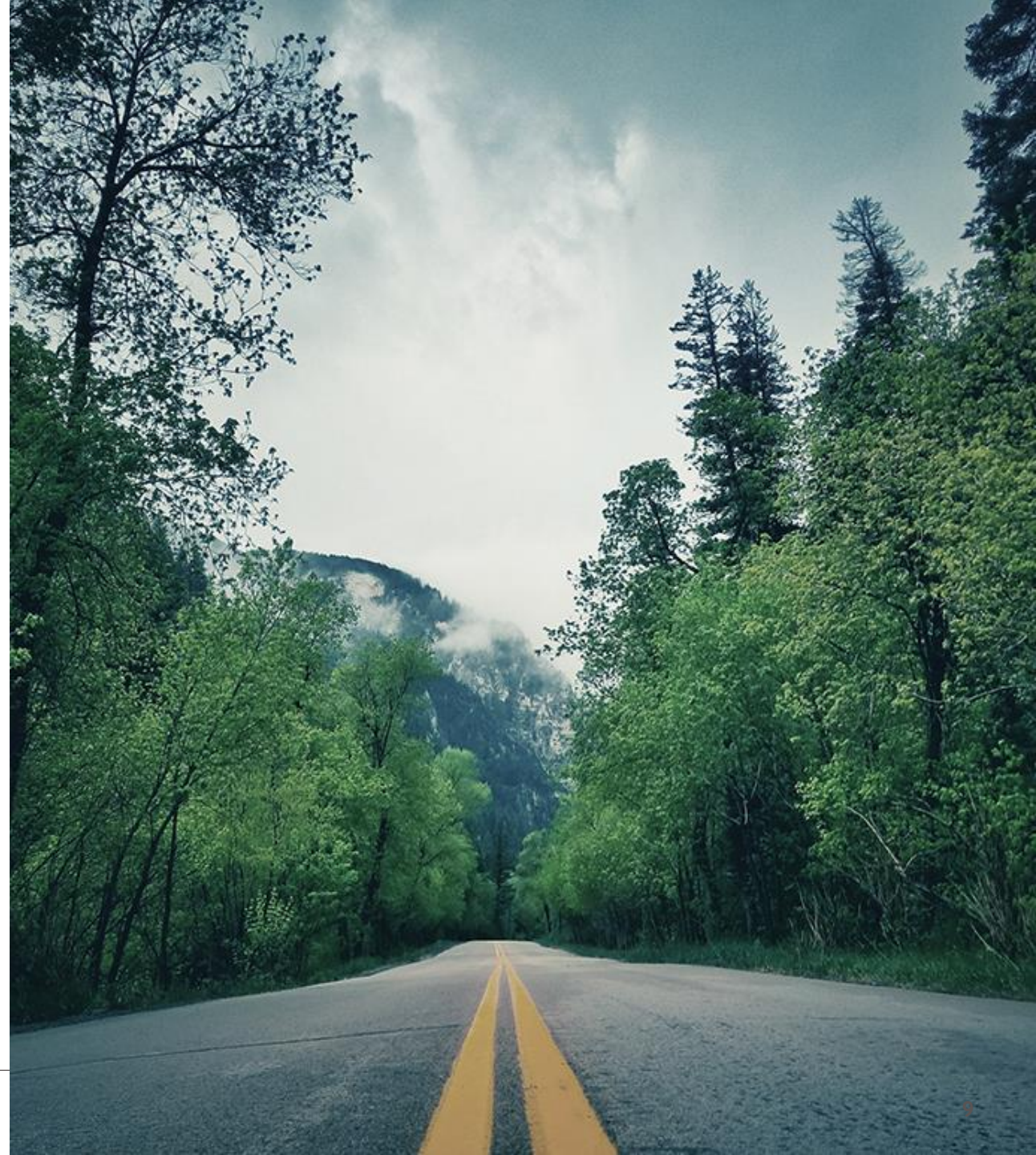
トレーニングと開発

250

新しい臨床試験研究者

SS&Pが採用するサステナビリティ 調達戦略

- サプライチェーンには、企業のサステナビリティ目標に貢献する大きな機会があります。
- SS&Pは、サステナビリティ調達戦略を通じて、サプライヤーパートナーシップとイノベーションにおけるバリュードライバーとしてサステナビリティを組み込み、サステナビリティの視認性、説明責任、パフォーマンスを推進することでこの機会にアプローチしています。
- 責任ある調達プログラムは、この戦略を実現するための鍵となります。



SS&Pがコミットする、責任ある調達プログラム

責任ある調達プログラム (RSP)

- 責任ある調達プログラムにより、SS&Pは以下を実現します。
 - サプライチェーンのサステナビリティのリスクとパフォーマンスを監視する
 - SS&Pとサプライヤーのパートナーシップにおいて、サステナビリティをパフォーマンスの中核領域として取り組む
 - サプライヤーを継続的な改善に導くために、中核的な一連の要件を導入する
 - SS&Pが、ESGに関する価値観とコミットメントを共有できるサプライヤーと協働できるよう、サプライヤーのデューデリジェンスを確実に実施する
 - SS&Pの第三者リスク管理プログラム(TPRM)をサポートする

RSPの目標

- ✓ サプライヤーのESGパフォーマンスの評価を行い、その結果に基づいて要件を設定し、ESG原則をソーシング調達と購買に組み込む
- ✓ 優先サプライヤーベースで要件を導入し、パフォーマンスを平準化して、戦略的で価値観に基づいたパートナーシップを確保する

サステナビリティの実現に向けたパートナーシップの締結



- 一連の階層における継続的な改善に取り組むパートナーを**選定**する
- 優先サプライヤーであり続けるために、特定されたサステナビリティのギャップに対処する責任を**引き受ける**
- **メリット**
 - コンプライアンスと規制管理の改善
 - ブランドの評判の向上
 - リスク回避の向上
 - ステークホルダーとの関係改善
 - サステナビリティ目標を達成するためのトレーニングやその他のサポート
- **維持または達成**
 - 優先サプライヤーステータス
 - Bristol Myers Squibbとの提携による戦略的メリット

目次

1. 概要(3ページ)

- Bristol Myers Squibbにおける環境・社会・ガバナンス(ESG)／サステナビリティの定義
- ESG／サステナビリティにおけるBristol Myers Squibbの取り組み
- Strategic Sourcing & Procurement(SS&P)の取り組み: 責任ある調達プログラム

2. 責任ある調達プログラム(12ページ)

- 範囲と意図
- フレームワークとロードマップ
- 階層の概要
- 変革の要件とビジネスケース

3. 要件の詳細(20ページ)

- リスク回避と継続的な改善
- パフォーマンス管理
- 情報開示
- サプライチェーン管理
- イノベーション

4. リソース(28ページ)

- リソースと参考資料
- サプライヤーの期待事項
- FAQ

5. 付録(34ページ)

責任ある調達プログラム: 範囲と意図

範囲

責任ある調達プログラム(RSP)は、特に明記されていない限り、Bristol Myers Squibbの優先サプライヤーに適用されます。

優先サプライヤーの方で、プログラムについて質問がある場合、または優先サプライヤーではないけれども詳細をお知りになりたい場合は、SS&Pの担当者までご連絡ください。

RSPのすべての要件は、参加するサプライヤーに適用されます。サプライヤーのSS&P担当者には、カテゴリ固有の追加要件が適用される場合があります。

メリット

サプライヤーが積極的に参加することは、法規制のコンプライアンス、ブランドの評判、ステークホルダーとの関係を改善することに繋がります。SS&Pは、当社の価値観と取り組みを共有するサプライヤーと協働できることを誇りとし、可能な限りサプライヤーのサステナビリティへの取り組みをサポートすることに努めます。

SS&Pは、ビジネスの観点から自社の事業におけるESGを優先事項としている既存のサプライヤーとの関係構築に注力しています。

想定される成果

サプライヤーとBristol Myers Squibbには、次の成果がもたらされます。

- それぞれのサステナビリティプロファイルを認識する
- 能力と取り組み方を開発する
- 透明性を確保し、情報開示を実現する
- パフォーマンスの向上を促進する

これはパートナーシップに基づくモデルであり、SS&Pは社内外のリソースを通じてサポートを提供する予定ですが、改善とパフォーマンスの原動力は最終的にはサプライヤーに依存します。

責任ある調達プログラムは、優先サプライヤー向けのSS&Pパートナーシップモデルの一部です

責任ある調達プログラムはEcoVadisを使用してサプライヤーを評価します

EcoVadisは、企業の社会的責任と持続可能な調達を評価する評価プラットフォームです。ソリューションには、リスク監視とサステナビリティプロファイリングが含まれます。

サステナビリティインテリジェンススイートは、サステナビリティのリスクとパフォーマンスの管理など、広範囲をカバーします。

- 大規模なサプライチェーンリスクのスクリーニングとマッピング
- 実用的な評価を備えた信頼性の高いスコアカード
- サプライヤーの業界、規模、地域に合わせた評価

EcoVadis は、すべての重点分野にわたってサプライヤーから提出されたエビデンスをレビューする、有資格のESG／サステナビリティ専門家のチームがサプライヤー評価を検証します。

SS&Pは、特定されたリスクと機会に応じてサプライヤーがサステナビリティプロファイルを改善し、特定されたギャップの解決に積極的に取り組むことを期待しています。

EcoVadisの詳細については、[Bristol Myers Squibb \(ecovadis.com/ja\)](https://ecovadis.com/ja)をご覧ください。



RSPが要求し、動機付けする、サプライヤーのサステナビリティパフォーマンス

3つのパフォーマンスレベル:



アスピラント

ESG／サステナビリティ領域内の著しいギャップ¹が特定され、サプライヤーは優先サプライヤーであり続けるために、サステナビリティに関する是正措置を講じる必要がある



アチーバー

ESG／サステナビリティ領域内のいくつかのギャップ¹が特定されたが、これらの重点分野に対処するためのプログラムは概ね導入されている



ハイアチーバー

サプライヤーには確固たるプログラムがあり、サプライヤーはパフォーマンスレベルを維持および向上させるよう動機付けられている

変革のビジネスケース

責任ある調達プログラムは、SS&Pに、情報に基づいた価値観をベースとした意思決定を行うためのツールと洞察を与えると同時に、供給基盤への認識と継続的な改善モデルを提供します。

これが非常に重要である理由は次のとおりです。

投資家

84%

ESGに焦点を当てた機関投資は、2026年までに84%増加して33兆9000億ドルになると予想される。*

企業

ESGは、売上高の成長、コスト削減、規制や法的介入、生産性の向上、投資と資産の最適化といった価値創造につながる。**

パフォーマンス

70%

米国のCEOのうち、自社のESGプログラムが財務パフォーマンスを向上させていると回答した人は、去年の37%から増加。****

論争

5,000億ドル

ESG問題に関わる論争により、2015年から2019年までの5年間で失墜した米国の大企業の価値。*****

消費者

製品のESG関連の側面と消費者支出の間には関連性があり、顧客は環境や社会に配慮した製品により多く支払っている。***

変革のビジネスケース

アスピラント

- Bristol Myers Squibbの優先サプライヤーステータス
- リスク管理
 - 環境、社会、ガバナンスの規制がますます厳格化する中、Bristol Myers Squibbのサステナビリティ要件を遵守することは、サステナビリティが法律化される未来に備えるのに役立つ
 - 法的要件およびコンプライアンスの要件の管理
 - リソース不足のリスク管理
- 潜在的な経済的メリット
 - サステナビリティへの取り組みを実施することで競争上の優位性を維持し、非効率性を排除してコストを削減できるため、潜在的な財務上のメリットがもたらされる可能性がある
 - 競争優位性の維持
 - 効率化によるコスト削減の活用

アチーバー

- 広報活動
 - サステナビリティへのコミットメントを示すことは評判にメリットをもたらす、投資家や顧客を惹きつけ、維持するための「必須事項」となりつつある
 - 顧客ロイヤリティとブランドポジショニングの向上
 - サステナブルなブランドという評判の構築
- 人材戦略
 - 倫理的に運営されている企業は、将来の候補者、特に社会に積極的に貢献する企業に価値を見出す求職者に、より魅力的に映る
 - 優秀な人材の確保と維持
 - 従業員のエンゲージメントと生産性の向上
- リスク管理の強化、アスピラントレベルからの経済的メリット

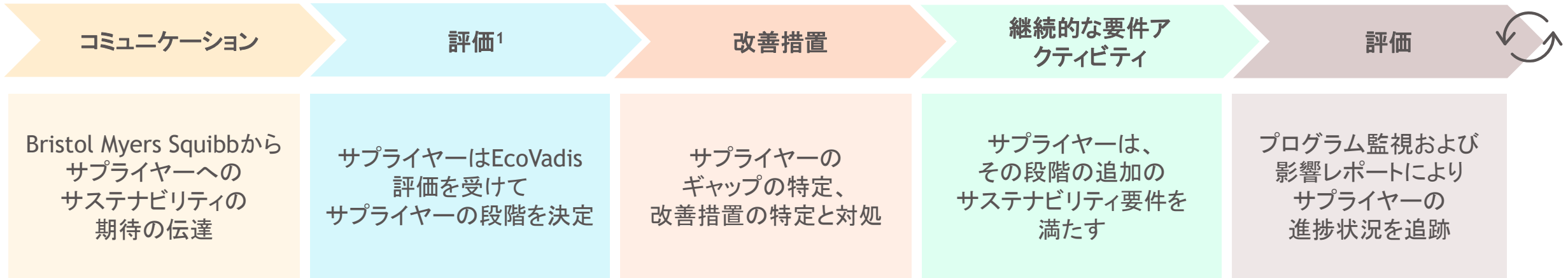
ハイアチーバー

- 戦略的パートナーシップ
 - サステナビリティを高める革新的な機会を積極的に見出そうとする企業は、長期的な戦略的ビジネスパートナーとして価値があることが証明されている
 - 業界のリーダーおよびイノベーターブランドという評判の獲得
 - Bristol Myers Squibbと提携し、サステナビリティイノベーションを推進する機会
 - 新しいテクノロジー導入に向けた業界の先導
- アスピラントおよびアチーバーレベルからもたらされる、さらに強化されたリスク管理、財務、広報、人材戦略などのメリット

要件

	アスピラント	アチーバー	ハイアチーバー
 必要なEcoVadisスコアを満たす EcoVadisの再評価を受ける	30以下 12か月時点	30～54 24か月時点	55以上 36か月時点
 EcoVadisプラットフォームおよび／またはBristol Myers Squibbの監査で 提案された是正措置に対応する	✓	✓	
 EcoVadisおよび該当するBristol Myers Squibbのステークホルダーに改善措置 に関連するエビデンスを提出し、承認を得る	✓	✓	✓ ²
 外部検証可能で、科学的根拠に基づくグローバルなコミットメント(パリ協定、 SBT、国連SDGsなど)に沿った年次のサステナビリティ目標を設定する		✓	✓
 第三者の公開プラットフォームを通じて年次公開レポートを完了する		✓	✓
 サプライヤーとともに責任ある調達要件を導入する			✓
 Bristol Myers Squibbと革新的なサステナビリティ機会「インパクト・イニシアチ ブ」で提携する ¹			✓

責任ある調達プログラムの高レベルのプロセス



サプライヤーが踏む段階

- 評価¹
- 改善措置
- サプライヤーのロードマップの一部として、プログラム要件の継続的な履行

Bristol-Myers Squibb

- サステナビリティの期待をサプライヤーに伝達
- 調達およびサプライヤー管理活動におけるサステナビリティパフォーマンスの活用
- サプライヤーのRSP参加中、その関係性の維持と関与

¹アスピラントは12か月ごと、アチーバーは24か月ごと、ハイアチーバーは36か月ごとに再評価される

目次

1. 概要(3ページ)

- Bristol Myers Squibbにおける環境・社会・ガバナンス(ESG)／サステナビリティの定義
- ESG／サステナビリティにおけるBristol Myers Squibbの取り組み
- Strategic Sourcing & Procurement(SS&P)の取り組み: 責任ある調達プログラム

2. 責任ある調達プログラム(12ページ)

- 範囲と意図
- フレームワークとロードマップ
- 階層の概要
- 変革の要件とビジネスケース

3. 要件の詳細(20ページ)

- リスク回避と継続的な改善
- パフォーマンス管理
- 情報開示
- サプライチェーン管理
- イノベーション

4. リソース(28ページ)

- リソースと参考資料
- サプライヤーの期待事項
- FAQ

5. 付録(34ページ)

サプライヤー要件: リスク回避と継続的な改善

EcoVadisと是正措置



RSPガイダンスモデル

- サプライヤーがEcoVadisから推奨事項を受け取ったら、SS&Pはサプライヤーに、リソースの優先順位付けと割り当てを決定するために「リスクベースのアプローチ」を使用することを推奨しています。最も大きくシステム的な、そして最も大きな影響を与える可能性のあるところから始めます。
- サプライヤーが是正措置を講じる際のガイドは次のとおりです。
 - 重大なリスク→中等度のリスク
 - システム上の問題→孤立した問題
 - より広範なステークホルダーへの影響→孤立した利害関係者への影響
 - 法令・規制の遵守→ベストプラクティス
- サプライヤーが「アスピラント」(30未満)と評価された場合、優先サプライヤーステータスを維持するためにカテゴリーをアチャーバー(30~54)にレベルアップするまで、2回の追加評価を含む2年間の猶予があります。
- アチャーバーおよびハイアチャーバーのサプライヤーには、EcoVadisの評価で示された措置を継続的に改善し、追加の要件を満たすことが期待されています。サプライヤーは、EcoVadisで55以上と評価され、残りのアチャーバー段階の要件を完了すると、アチャーバーからハイアチャーバーにレベルアップします。
- すべてのサプライヤーにとって、EcoVadisの数値評価を改善する主な方法は、EcoVadisの年次評価で特定された改善領域に対し是正措置計画を講じることです。サプライヤーは、EcoVadisプラットフォームを活用してリスクに対処し、パフォーマンスを向上させるために改善分野に取り組むことが期待されます。これにより、サプライヤーの次のEcoVadis評価は向上するはずですが、
- 数値評価とは別に、サプライヤーによるBristol Myers Squibbの追加要件の履行をサポートする追加のリソースと参考資料を次のセクションに示します。

サプライヤー要件: リスク回避と継続的な改善

EcoVadisと是正措置

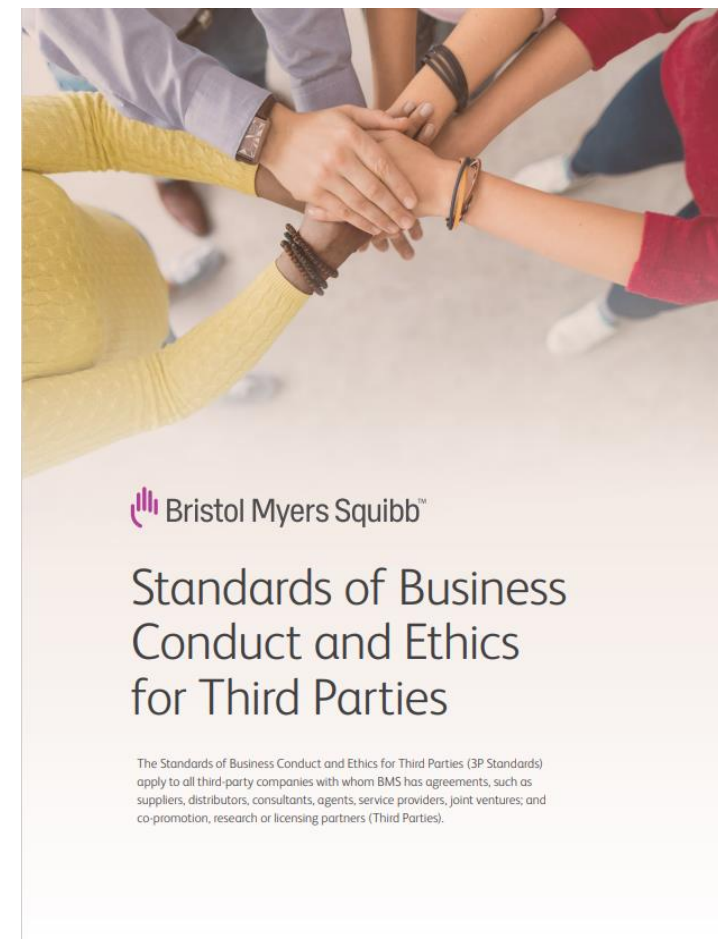


重大または主要なリスク

リスクに対処するためのほとんどの改善措置は、RSPガイダンスモデルに従う必要があります。評価またはその他の手段を通じて特定された重大または主要なリスク状況下では、問題はSS&Pの第三者リスク管理プログラムに送られます。リスクの種類および関連する状況に応じて、Bristol Myers Squibbは直接連絡を取り、実施する必要がある是正措置とそれらに関連するスケジュールを決定します。第三者基準に違反した場合、既存の取り決めが終了する場合があります。

サステナビリティにおける重大または主要なリスクは、以下で説明する領域内に存在し、Bristol Myers Squibbの第三者に対するビジネス行動規範および倫理基準に記載されています。サプライヤーは、制裁対象または制限対象者リストに記載されている個人または団体と直接的または間接的にも関与しないことが求められます。

- 児童労働
- 強制労働と奴隷労働
- 人権と労働
- ビジネス倫理
- 環境
- 安全衛生
- 動物福祉



サプライヤー要件: パフォーマンス管理

環境、社会、ガバナンスの重点分野における年次のサステナビリティ目標の設定



サステナビリティの重点分野: 環境、社会、ガバナンス

ESGにおいて、どの目標が自社のステークホルダーに最も関連性があり、自社の業務に最も重要かつサプライヤーが意図する影響に最も意味をなすかを判断するのはサプライヤーの責任です。とはいえ、より責任ある持続可能なサプライヤーになるために、検討すべき領域は無数にあります。

環境の例

- 廃棄物
 - 埋立廃棄からの転換
 - リサイクルと資源回収
 - 廃棄物のエネルギー化／焼却
 - 堆肥化
 - 製品の循環性
 - 包装のイノベーション
- 水
 - 生産水の削減／効率化
 - 排水品質の向上
 - 環境管理における医薬品
 - 水のリサイクル／再利用生産／オペレーション
- エネルギー
 - 再生可能エネルギーの調達
 - 炭素、メタン、その他GHG排出量の削減
 - 電気自動車の導入
 - エネルギー効率／改修

社会の例

- 従業員向けトレーニングと能力開発
- 従業員の苦情処理
- 結社の自由／CBA
- 時間外労働、労働時間、労働条件
- 差別とハラスメント防止
- ダイバーシティとインクルージョン
- 所得の公平性
- 児童労働
- 強制労働と奴隷労働
- サプライヤーの行動規範
- 人権と労働慣行

ガバナンスの例

- 目的とビジョン
- ガバナンスの構成
- 腐敗防止、贈収賄防止、企業倫理
- リスクと機会の監督
- 高リスク商品のトレーサビリティ
- レポートと透明性

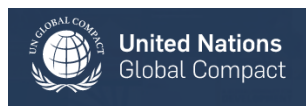
KPIは、カテゴリ別のESGの重点分野や目標について、SS&Pの担当者と話し合うこともできます。

サプライヤー要件: パフォーマンス管理



サステナビリティの重点分野: 社会、環境、ガバナンス

サステナビリティ目標は、外部検証可能で科学主導型、かつ学国連の持続可能な開発目標や科学的根拠に基づく目標イニシアティブなど、グローバルなコミットメントと整合している必要があります。ここに、目標設定へのアプローチ方法の簡略化された例に加え、いくつかの組織に関する参考資料を挙げました。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

選定されたサプライヤーは、科学的根拠に基づいた目標または科学的に整合性のある目標にコミットし、設定するようBMSから直接要求されます。

例1

- ターゲット:
 - 2025年までに、再生可能エネルギーが、オンサイトおよび調達エネルギー(スコープ1およびスコープ2の排出量)のエネルギーミックスに占める割合を20%に引き上げる。
- 計画:
 - スコープ1と2の排出量の通貨エネルギーミックスを見直す。
 - 取り組みを開始する前に、エネルギー利用のベースラインを作成する。
 - 「REC無効化」、敷地内太陽光発電の設置、電力購入契約(PPA)または仮想電力購入契約(VPPA)の締結などの取り組みを実施し、長期的なエネルギー構成の割合を変更する。
 - 再生可能資源から利用できるエネルギーのベースラインからの変化率を計算する。

例2

- ターゲット:
 - 2027年までに、リサイクル、堆肥化、再利用のために埋立廃棄から転換される廃棄物量を30%増加させる。
- 計画:
 - リサイクル/再利用、堆肥化、焼却、埋立に送られる社内廃棄物の割合を確認し、ベースラインを作成する。
 - 堆肥化、包装の再設計、その他の種類のリサイクル/削減/再利用など、特定の廃棄物の流れを方向転換する取り組みを特定し実行する。
 - これらの取り組みの結果として転用または削減された資材の量を追跡する。
 - その量をベースラインのパーセンテージとして計算し、目標が達成に向けて順調に進んでいるかどうかを理解する。

例3

- ターゲット:
 - 2024年までに管理職に就く多様な人材の数を15%増加させる。
- 計画:
 - 現在の昇進と人材育成のパイプライン構造を把握し、介入なしで管理職になると予想される多様性のある候補者の数を判断する。
 - 特定されたギャップの根本原因を特定し、それに応じた措置を講じる。
 - 社内外の主要なステークホルダーと連携して、アジェンダと意図する成果を後押しする。
 - 人材の採用、指導、能力開発、機会の促進を行う。
 - 介入後の人口統計データを収集し、前年比の影響を確認する。

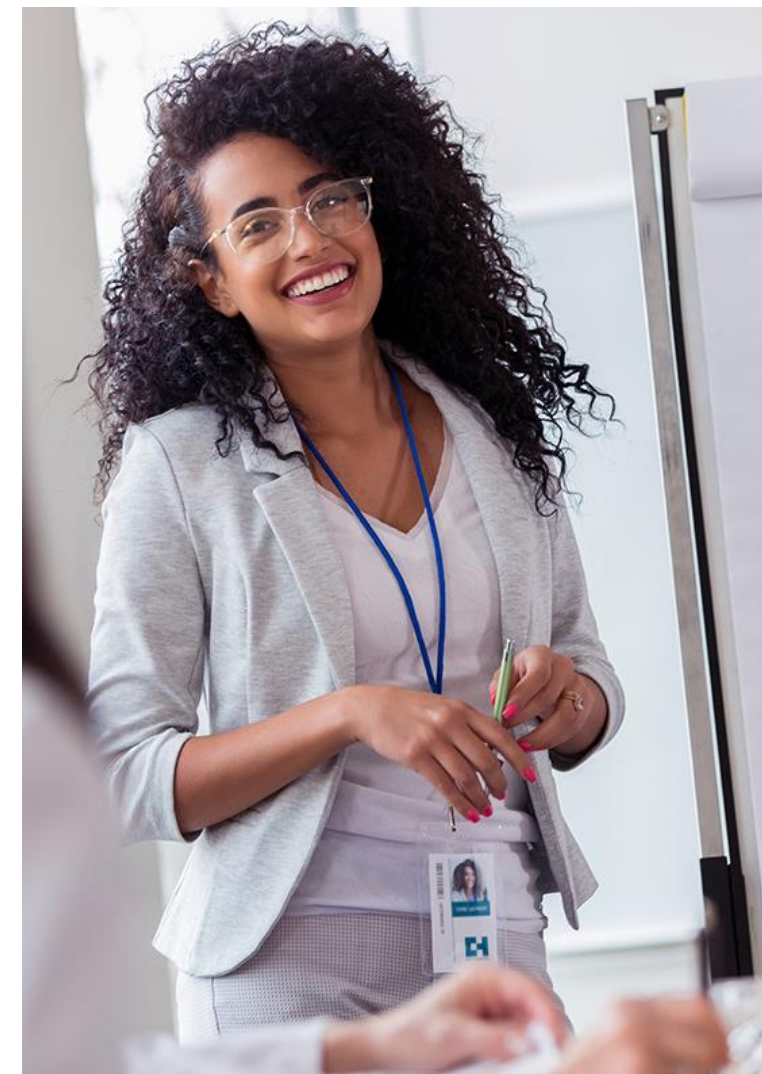
サプライヤー要件: 情報開示

透明性は、ESGにおける「G」つまりガバナンスの重要な部分です。ESG領域における透明性の重要な部分は、情報の一般開示という形式での報告です。これはさまざまな方法で行われます。企業は、客観性と公平性を実証するとともに、同業他社との競争ベンチマークを作成するために、CDPなどの第三者プラットフォームを通じて環境フットプリントを報告します。第三者による情報開示は、かつては先進的な慣行とみなされていましたが、投資家やステークホルダーの期待が高まるにつれ業界標準となりつつあります。

Bristol Myers Squibbは、サプライヤーに対し、CDPおよび／またはGRI開示プラットフォームを使用して、ESGの情報開示を開始することを推奨しています。CDPは、気候変動に関するアンケートを通じて環境サステナビリティに関する情報を把握し、組織の業務運営への適用可能性に応じて、水の安全と森林に関するアンケートも提供します。GRI基準は、環境、社会、経済的要因にわたる広範な一連の質問に基づいています。各開示プラットフォームの要件を調査の上、組織の開示プロセスの計画を開始してください。



選定されたサプライヤーは、CDP気候変動アンケートに報告するようBMSから直接要求されます。

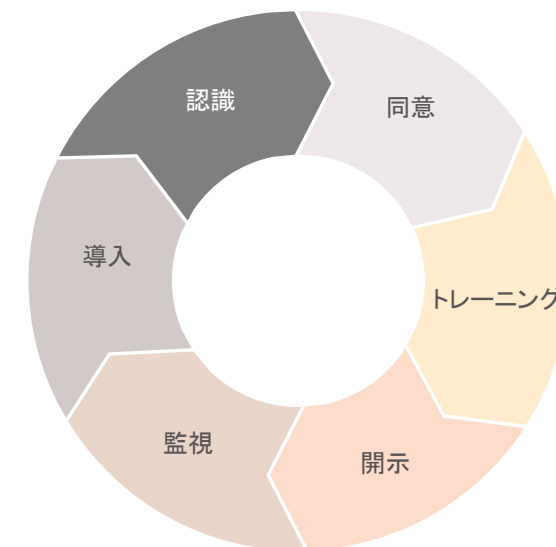


サプライヤーの要件: サプライチェーン管理

サプライヤーとして、組織の社会的および環境的フットプリントを調査、評価し、積極的に改善する意欲を持つことは、SS&Pが自社の責任ある調達プログラムの影響を拡大する最も効果的な方法の1つです。多くの場合、サプライチェーンの後方に行けば行くほど、サステナビリティの最低要件が満たされていることを検証するのは困難です。サプライチェーンの後方で要件事項を連鎖させ、SS&Pと提携することは、企業としてより広範な影響範囲に対して責任を負う機会となります。BMSは、サプライヤーに、当社および第三者基準に規定されている期待に対して最低限の責任を負うことを要求します。

組織の規模、スケール、リソース、専門知識に応じて以下などを実行します。

- サプライヤーのオンボーディング中に、ESG／サステナビリティ要件を含む行動規範を認識し遵守することを要求する
- 同僚／サプライヤーに対して、行動規範およびこの領域で組織が期待する具体的な事項に関するトレーニングを義務付ける
- サプライヤーに、リスクとそれに対処する適切な措置を理解するために、社内評価または第三者プラットフォーム／監査を通じて、自社のリスクプロファイルの開示を要求する
- サプライチェーンにおけるコンプライアンスの進捗状況を監視する
 - 監査対象のサプライヤーベースの割合
 - 解決された不適合の割合
 - 高リスクのサプライヤーへの支出の割合
- 社会的および環境的リスクの高い商品に対する特定の購買要件の導入
 - ゴム、パーム油、砂糖、タルク、大豆、カルナバワックス、魚油など。



サプライヤーの要件: 「インパクト・イニシアチブ」によるイノベーション



インパクト・イニシアチブ

Bristol Myers Squibbは、サプライヤーとのパートナーシップにおいてイノベーションが結実することで、相互に価値がもたらされることを認識しています。影響範囲はサプライヤーの種類やBristol Myers Squibbとの関係によって異なる場合がありますが、この課題にプラスの影響を与える方法は数多くあります。

ハイアチーバー

ステークホルダーに最大の影響を与える企業のサステナビリティ目標を可能にすべく、SS&Pはイノベーションを実現するために、次のような選定されたサプライヤーと提携しています。

- すでにESG／サステナビリティの問題について革新的に考察している
- Bristol Myers Squibbと良好な関係を維持している
- 意欲的にイニシアチブに取り組み、働き方を確立している
- Bristol Myers Squibbにサプライヤーデータを提供し、影響を把握している

目次

1. 概要(3ページ)

- Bristol Myers Squibbにおける環境・社会・ガバナンス(ESG)／サステナビリティの定義
- ESG／サステナビリティにおけるBristol Myers Squibbの取り組み
- Strategic Sourcing & Procurement(SS&P)の取り組み: 責任ある調達プログラム

2. 責任ある調達プログラム(12ページ)

- 範囲と意図
- フレームワークとロードマップ
- 階層の概要
- 変革の要件とビジネスケース

3. 要件の詳細(20ページ)

- リスク回避と継続的な改善
- パフォーマンス管理
- 情報開示
- サプライチェーン管理
- イノベーション

4. リソース(28ページ)

- リソースと参考資料
- サプライヤーの期待事項
- FAQ

5. 付録(34ページ)

責任ある調達プログラム：リソースと参考資料



トレーニング／能力開発イベント

業界のリソースとガイダンスを求めている医薬品サプライヤーにとって、医薬品サプライチェーンイニシアチブ(PSCI)は、倫理、労働、健康、安全、環境における能力を構築するための重要なリソースです。

サプライヤーの能力構築イベントは定期的に行われ、次のような重要な問題に取り組んでいます。

- ウェビナー
 - バイオ医薬品業界に影響を与える最新のトピックについて
- サプライヤーカンファレンス
 - 技術的能力開発をサポートする
- 知識の共有
 - PSCIウェブサイトの リソースライブラリーを通じてベストプラクティス資料を共有する
 - PSCI成熟度モデルアプリ／成熟度モデルアプリ(Google)をダウンロードして、サステナビリティ／ESGトピック全体にわたる能力を開発する方法を学ぶ



PSCIのビジョンは、当社のサプライチェーンにおける倫理、労働、健康、安全および環境的に持続可能な成果を継続的に改善する責任ある慣行を確立し、促進することです。

責任ある調達プログラム：リソースと参考資料*

レポート

- [EcoVadis](#)
- [CDP](#)、[GRI](#)、[TCFD](#)、[CDSB](#)、[SASB](#)

業界との関わり

- [スコープ3の二酸化炭素削減目標の達成 - Manufacture 2030](#)
- [Energizeの導入 - 医薬品サプライチェーンの再生可能エネルギーへのアクセスを向上 \(se.com\)](#)
- [医薬品サプライチェーンイニシアティブ](#)
- [マイグリーンラボ](#)

規制のベストプラクティス

- [OSHAの自主的保護プログラム \(VPP\)](#)
- [Better Buildings D.O.E. \(廃棄物の削減\)](#)
- [EPA Energy Star Program \(エネルギー効率\)](#)

目標設定とコミュニティパートナーシップ

- [科学的根拠に基づくターゲット](#)
- [ホーム - SME気候ハブ \(businessclimatehub.org\)](#)
- [持続可能な開発目標 \(SDGs\)](#)
- [世界資源研究所 \(WRI\)](#)
- [世界自然保護基金 \(WWF\)](#)
- [全米マイノリティ・サプライヤー・ディベロップメント・カウンシル \(NMSDC\)](#)
- [ダイバーシティ・アライアンス・フォーサイエンス \(DA4S\)](#)
- [WeConnect International \(女性経営企業\)](#)
- [女性ビジネス企業全国協議会 \(WBENC\)](#)

責任ある調達プログラム: リソースと参考資料*

世界的な政府間組織とNGO

- [科学的根拠に基づくターゲット](#)
- [国連グローバル・コンパクト](#)
- [国連の持続可能な開発目標](#)
- [RE 100](#)

商品認証／リスク軽減を支援する協会 *

- [Fair Rubber Association](#)
- [Global Platform for Sustainable Natural Rubber](#)
- [Roundtable on Sustainable Palm Oil](#)
- [Acquaculture Stewardship Council](#)
- [Forest Stewardship Council](#)
- [Roundtable on Responsible Soy](#)
- [Initiative for Responsible Carnauba](#)

ESG／サステナビリティリスクの分野

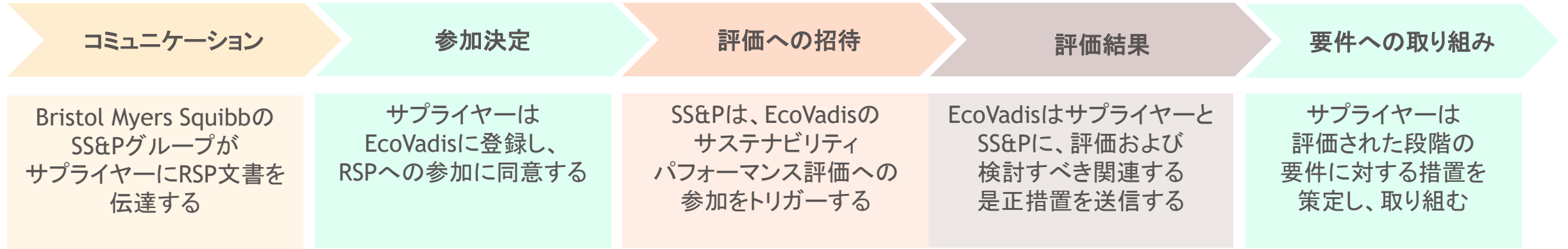
- [強制および奴隷労働、人身売買](#)
- [CSR - Supply Chain Act \(csr-in-deutschland.de\)](#)
- [ウイグル強制労働防止法 | 米国税関国境警備局 \(cbp.gov\)](#)
- [EUCSDD](#)

Bristol Myers Squibbのリソース

- [清廉性の原則: Bristol Myers Squibbの第三者基準](#)
- [Bristol Myers Squibbにおけるサステナビリティ](#)
- [2022年BMS ESGレポート](#)

責任ある調達プログラム: サプライヤーの期待事項

責任ある調達プログラム: サプライヤーのプログラムへの参加



サプライヤー

- Bristol Myers Squibbの視認性、進捗状況、KPI追跡のためにEcoVadisプラットフォーム経由で是正措置に対処する
- 翌年、階層の移動(昇格、降格、据え置き)について再評価され、措置が見直される

Bristol-Myers Squibb

- SS&Pは、プログラムの状況／進捗状況についてサプライヤーと連絡を取り、必要に応じて要件のフォローアップを行う
- SS&Pは、サプライヤーに関して特定された重大または主要なリスクの是正についてコミュニケーションを取る
- SS&Pは、選定されたサプライヤーに連絡し、「インパクト・イニシアチブ」を通じたイノベーションなどの機会への参加を促す

責任ある調達プログラム: FAQ

このプログラムは誰に適用されますか?参加は義務ですか?任意参加も可能ですか?

責任ある調達プログラム(RSP)は、特に明記されていない限り、Bristol Myers Squibbのすべての優先サプライヤーに適用されます。優先サプライヤーの方で、プログラムについて質問がある場合、または優先サプライヤーではないけれども詳細をお知りになりたい場合は、Bristol Myers Squibbの調達担当者までご連絡ください。

ある段階から次の段階にレベルアップするにはどうすればよいですか?昇格の基準は誰が審査するのですか?

RSPは、アスピラント、アチャーバー、ハイアチャーバーの3段階に分かれています。各段階には数値評価、是正措置があり、上位2段階については、目標設定や情報の一般開示などの要件があります。アチャーバーになるためには、サプライヤーはまずEcoVadis評価で少なくともスコア30を達成する必要があります。次に、アチャーバーレベルを取得するには、アチャーバー段階の残りの要件を満たす必要があります。同様に、ハイアチャーバーと認定されるには、まずEcoVadisでスコア55以上を取得し、ハイアチャーバー段階の残りの(該当する)要件を満たす必要があります。

私の組織がEcoVadis評価を受けることを望まない場合はどうすればよいですか?

評価プロセスに関して懸念がある場合は、SS&Pの担当者にご連絡ください。

責任ある調達プログラムに関する詳細情報を入手するにはどうすればよいですか?

責任ある調達プログラム(RSP)の要件と期待事項は、RSPハンドブックに記載されています。サプライヤーのサステナビリティへの取り組みをサポートする、外部リソースのリストも用意されています。SS&Pが、特定のテーマに特化したトレーニングや資料を提供する場合があります。RSPに関してサプライヤー固有の質問がある場合は、SS&Pの担当者にお問い合わせください。

EcoVadis評価が実施されていることは、どのようにわかりますか?

EcoVadisに登録され、貴社のRSPへの参加が確認されたら、SS&Pの担当者の方に連絡先情報が提供されます。その後、EcoVadisから、EcoVadisネットワークに参加するためのサプライヤープロフィールを作成する手順が提供されます。EcoVadisの詳細については、以下を参照してください。[EcoVadis](#)

選定したサステナビリティ目標が十分かどうか、どのように確認できますか?

指針は、それらが外部検証可能で、科学的根拠に基づくグローバルなコミットメントと整合している必要があるということです。正確にどの領域に影響を与えるかはサプライヤーの選択です。これらの目標は、必要に応じてBristol Myers Squibbが見直す場合があります。

私の組織は、どこからサステナビリティサプライチェーン管理を始めればよいでしょうか?

まず、貴社の価値観とビジョン、規制および法的要件を検討することから始めます。これらのソースは、サプライチェーンパートナーに対する行動規範またはその他の契約上の期待事項を形成する上での最小要件の指針となります。プログラムを強化するために、内外部とのコミュニケーション、トレーニング、能力開発および検証スキームの組み合わせを検討する必要があります。最もリスクが高く、最も戦略的なパートナーとともにプログラムを実施し、プログラムが成熟し続けるにつれて、その範囲を拡大します。

付録

サステナビリティ:アスピラントのRSP要件の導入

	要件	サプライヤーに必要な活動 (要件を満たすためにサプライヤーに求められること)	Bristol Myers Squibbに必要な活動 (要件を満たすためにBristol Myers Squibbに求められること)
リスク軽減	2年以内にEcoVadisで少なくともスコア30を獲得し、アチーバーステータスを取得してBristol Myers Squibbの優先サプライヤーであり続ける <i>EcoVadisの再評価は12か月後に実施</i>	サプライヤーは、RSPおよびそれに関連するBristol Myers Squibbの方針に同意する	Bristol Myers Squibbは、同意書の受領およびEcoVadis評価を通じてサプライヤーのコミットメントを追跡する
リスク軽減	EcoVadisプラットフォームおよび／またはBristol Myers Squibbの監査で提供された是正措置に対応する	サプライヤーはギャップに対処し、確実に改善を実現するための是正措置計画を提出する	Bristol Myers Squibbは、必要に応じて意見やサポートを提供する。Bristol Myers Squibbは進捗状況を追跡し、問題をエスカレーションしてスケジュールが確実に守られるようにする
リスク軽減	EcoVadisおよび／またはBristol Myers Squibbの主要なステークホルダーに改善活動に関連するエビデンスを提出して、承認を得る	サプライヤーは、EcoVadisおよび／またはBristol Myers Squibbの主要なステークホルダーに関連するエビデンスを提出して、承認を得るか、期限内にコンプライアンスを実証する	Bristol Myers Squibbは、関連するアクションを承認し、サプライヤーのパフォーマンスを長期にわたり追跡する

サステナビリティ:アチーバーのRSP要件の導入

	要件	サプライヤーに必要な活動 (要件を満たすためにサプライヤーに求められること)	Bristol Myers Squibbに必要な活動 (要件を満たすためにBristol Myers Squibbに求められること)
継続的な改善	Ecovadisスコア30~54を維持する、または向上させる <i>Ecovadisの再評価は24か月後に実施</i>	サプライヤーは、RSPおよびそれに関連するBristol Myers Squibbの方針に同意する	Bristol Myers Squibbは、同意書の受領およびEcoVadis評価を通じてサプライヤーのコミットメントを追跡する
リスク軽減	既存のギャップへの対処に取り組む	サプライヤーはギャップに対処し、確実に改善を実現するための是正措置計画を提出する	Bristol Myers Squibbは、必要に応じて意見やサポートを提供する。Bristol Myers Squibbは進捗状況を追跡し、問題をエスカレーションしてスケジュールが確実に守られるようにする
パフォーマンス管理	外部検証可能で、科学的根拠に基づくグローバルなコミットメント(パリ協定、SBT、国連SDGsなど)に沿った年次のサステナビリティ目標を設定する	サプライヤーは要件を定義する際、目標を外部に公開し、Bristol Myers Squibbに周知する 選定されたサプライヤーには、科学的根拠に基づく目標への取り組みが求められる	Bristol Myers Squibbは、プログラム要件を満たすための外部目標の公表に同意する
情報開示	第三者の公開プラットフォームを通じて年次の公開報告書を完了する	サプライヤーは、自らが選択した公開プラットフォームで年次の報告書を開示し、Bristol Myers Squibbに周知する	Bristol Myers Squibbは、プログラム要件達成のための情報公開に同意する

サステナビリティ:ハイアチーバーのRSP要件の導入

	要件	サプライヤーに必要な活動 (要件を満たすためにサプライヤーに求められること)	Bristol Myers Squibbに必要な活動 (要件を満たすためにBristol Myers Squibbに求められること)
継続的な改善	Ecovadisスコア55以上を維持および向上させる EcoVadisの再評価は36か月後に実施	サプライヤーは、RSPおよびそれに関連するBristol Myers Squibbの方針に同意する	Bristol Myers Squibbは、同意書の受領およびEcoVadis評価を通じてサプライヤーのコミットメントを追跡する
パフォーマンス管理	外部検証可能で、科学的根拠に基づくグローバルなコミットメント(パリ協定、SBT、国連SDGsなど)に沿った年次のサステナビリティ目標を設定する	サプライヤーは要件を定義する際、目標を外部に公開し、Bristol Myers Squibbに周知する 選定されたサプライヤーには、科学的根拠に基づく目標への取り組みが求められる	Bristol Myers Squibbは、プログラム要件を満たすための外部目標の公表に同意する
情報開示	第三者の公開プラットフォームを通じて年次の公開報告書を完了する	サプライヤーは、自らが選択した公開プラットフォームで年次の報告書を開示し、Bristol Myers Squibbに周知する	Bristol Myers Squibbは、プログラム要件達成のための情報公開に同意する
サプライチェーン管理	サプライヤーとともに責任ある調達要件を導入する	サプライヤーは、サプライチェーンパートナーに対する独自の行動規範/最低限のESG要件を確立し導入する	Bristol Myers Squibbは、EcoVadisを通じて評価を行い、必要に応じて公表する
イノベーション	Bristol Myers Squibbと革新的なサステナビリティ機会「インパクト・イニシアチブ」で提携する ¹	サプライヤーは、Bristol Myers Squibbとのパートナーシップで定義された、ESG領域全体にわたるサステナビリティのイノベーションについて提携する	Bristol Myers Squibbは、サプライヤーとの協業の機会を特定する